

日 時：令和 6年(2024年)1月 20日(土)10：00～11：45

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長，新井映子筆頭副会長，真部真里子副会長，平尾和子副会長，佐藤靖子，高澤まき子，藤井恵子，阿久澤さゆり，小西史子，和泉秀彦，中澤弥子，久保加織，北尾悟，坂本薫，杉山寿美，岡本洋子，秋永優子，田原美和，長嶺清司，三神彩子，三宅裕子，宮藤章(以上理事22名)，飯田文子，高村仁知(以上監事2名)

欠席者：杉山久仁子，柳沢幸江(以上理事2名)

本日の理事会は，定款第33条理事の過半数の出席(理事24名中出席22名，欠席2名)を満たし成立。

#### 【配付資料】

資料1：一般社団法人日本調理科学会 2023年度第2回理事会議事録(案)

資料2：一般社団法人日本調理科学会 2023年度第3回理事会報告 (編集委員会)

資料3： 同 (情報管理委員会)

資料4： 同 (創立50周年記念出版委員会)

資料5： 同 (災害時メニュー開発に関する研究委員会)

資料6： 同 (旧伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会)

資料7・8： 同 (支部からの代議員及び理事候補者の選出結果)

資料9： 同 (2024・2025年度本部役員候補者被選挙人名簿)

資料10： 同 (2023年度若手研究者発表奨励賞)

資料11： 同 (創立60周年記念事業「調理科学の百科事典」)

資料12：特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会

資料13・14：2024年度事業計画(案)・予算(案)

資料15：2024年度代議員総会等

資料16：2023年度大会決算及び余剰金

資料17：2024年度大会

回収資料：新入会員申込者

#### 1. 議長，議事録作成人，署名人選出

綾部会長より，はじめに，令和6年能登半島地震で被災された皆様へのお見舞いのお言葉があった。前例により，議長は綾部会長，議事録作成人は岡本庶務担当理事，議事録署名人は綾部会長，新井筆頭副会長，飯田監事，高村監事とする。

#### 2. 前回議事録確認

2023年度第2回理事会議事録(案)(資料1)を確認し，了承された。

#### 3. 議事

##### 【報告事項】

##### (1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

綾部会長より，前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり，新井筆頭副会長は庶務・編集担当として，真部副会長は情報管理担当として，平尾副会長は企画・広報関連及び災害時メニュー開発研究委員会等の担当として，会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

##### (2) 常置委員会からの報告の件

###### ・編集委員会

新井筆頭副会長より，資料2に基づき論文審査状況について報告があった。投稿数が増加したことなどが報告されたが，引き続き投稿していただきたいとの要請があった。学会誌クッキングルームに57巻

2号から「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」の掲載が開始される。

・情報管理委員会

真部副会長より、資料3に基づき3件の報告があった。ホームページの管理については、HPリニューアルに向けて、(株)エンボリックに依頼し、HP暗号化のためSSLサーバー証明書導入を予定している。メールニュース4件を発行した。転載許可の申請に対応した。

(3) 特別委員会からの報告の件

・刊行委員会

綾部会長より、クックリーサイエンスシリーズの状況について報告があった。峯木真知子先生執筆の本は5月に刊行を予定している。

・創立50周年記念出版委員会

真部副会長より、資料4に基づき「伝え継ぐ日本の家庭料理」のルーラル電子図書館内での公開について、ほぼ完了していると報告があった。現時点で50件の料理が完了していない。50件を含め1,880件の料理が完了したところでまとめて全公開する。同時に、「調理科学の目」「読み案内」も公開する。「伝え継ぐ日本の家庭料理」関連の印税について、総額248,770円であり、そのうち、電子書籍版が201,184円で大きな割合を占めた。電子書籍の販売が伸びている。

(4) 研究委員会からの報告の件

・災害時のメニュー開発に関する研究委員会

平尾副会長より、資料5に基づき、委員会活動の報告があった。9月9日に開催された2023年度大会において説明会を設けたところ、多くの方に参加していただいた。学会副会長を委員長として、各支部長とともに多くの会員の協力を得て、災害時の全国組織を作る活動から始める予定である。「令和6年能登半島地震」へのNPO法人キャンパーの出勤要請に関わる情報収集の依頼について、メールニュースを配信した(1月4日)。その後、「NPOキャンパーの活動状況のお知らせとお願い」を各支部長ほかへメール配信した。1月17日から石川県立能登高等学校に資材が設置され炊き出しが始まっており、ボランティア募集について、本日(1月20日)メールニュースで知らせる。ボランティアに参加する方は、食材や食器が不足しているので持参していただきたい。

・旧次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会

平尾副会長より、資料6に基づき、旧委員会活動の報告があった。家庭料理Webサイトの更新と学会誌クッキングルーム連載開始(前掲)について報告がなされた。さらに「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」に関する手持ちのデータを論文化していただきたいと補足された。

(5) 選挙管理委員会からの報告の件

1) 支部からの代議員及び理事候補者の選出結果

綾部会長から、資料7及び8に基づき、2024-2025年度代議員名簿と2024-2025年役員候補者名簿について報告があった。

2) 2024・2025年度本部役員候補者被選挙人名簿

綾部会長から、資料9に基づき、2024・2025年度本部役員候補者被選挙人名簿について報告があった。役員選挙のための選挙管理委員会は、大越ひろ氏、市川朝子氏、香西みどり氏と事務局員2名で構成される。投票等は選挙管理規程に従って行う。

(6) 2023年度若手研究者発表奨励賞の件

新井筆頭副会長より資料10に基づき報告があった。17演題がエントリーされた。2023年度大会は対面開催であり、紙媒体の投票用紙で実施され、有効投票数は145票であった。受賞候補者はエントリー数の25%を目安に4名を選定した。この賞は若手の活性化に有益であった。

(7) 創立60周年記念事業「調理科学の百科事典」の件

綾部会長より資料11に基づき、「企画案」「経緯」「進捗状況と予定」等について報告がなされた。2022年9月に理事会にて発刊が承認され、2027年5月に刊行予定である。これまでの周年事業に倣って書籍を発刊するが、60周年記念事業の枠組みがはっきり決まっているわけではない。

#### 【審議事項】

##### (1) 新入会員承認の件

綾部会長より、回収資料に基づき、2023年9月2日～2024年1月15日入会申込者について説明があり、確認の上承認された。

##### (2) 特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会の件

綾部委員長より、資料12が提示され、経緯、進捗状況、研究費用に関する説明があった。2023年度大会にてポスター33演題が発表された。日本調理科学会誌に全国調査の論文について、調査運営委員会メンバーによって検討・執筆・投稿した。現在、審査中である。2024年度大会においても各チームでポスター発表の予定である。研究にかかる費用として各支部と本部に10万円ずつ経費の補助を行った。2025年3月末までに投稿した論文について20件まで学会誌掲載料の補助を行う。20件を超えるときには理事会で審議した上で補助を行う方向である。以上のことについて審議を行って承認された。

##### (3) 2024年度事業計画(案)・予算(案)の件

綾部会長により、資料13に基づき2024年度事業計画(案)が提案され、審議を行った。内容については綾部会長を中心に説明がなされ、企画・広報関連については平尾副会長、編集委員会関連及び規程委員会については新井筆頭副会長、情報管理委員会関連及び刊行委員会については真部副会長から説明がなされた。また、真部副会長から資料14に基づき予算(案)の説明がなされた。2024年度予算案では、前年度と比較すると、正会員会費の減、電子書籍版印税費(雑収益)の増加、情報管理費の増加等があげられ、91,000円の増額予算案である。なお、資料13において、1. 総務関連の事業、(1)代議員総会のii)に「会長、副会長、理事及び監事の選任」を加筆し、iii)その他とする。事業計画(案)・予算(案)、いずれも承認された。

##### (4) 2024年度代議員総会等の件

###### 1) 2024年度第1回理事会の開催

綾部会長より資料15に基づきオンラインによる第1回理事会の開催について提案された。

###### 2) 代議員総会の開催

綾部会長より資料15に基づきオンラインによる代議員総会の開催について提案された。

###### 3) 講演会

綾部会長より資料15に基づき講演会の開催について提案された。講演1については未定であり、企画担当理事によって後日提案される。講演2については、2023年度学会賞受賞者柴田圭子氏による講演である。

###### 4) 代議員総会当日のスケジュール

綾部会長より資料15に基づき「2024年6月2日の日程案」について提案された。昨年度は代議員総会の時間帯が午後であったが、2024年度は午前で開催する。

資料15について、2. 2024年度代議員総会開催 3. 議案【報告事項】及び【決議事項】の最後の項目としていずれも「その他」を加筆する。

2024年度代議員総会等に係わる1)～4)の計4件の審議事項は、いずれも承認された。

##### (5) 2023年度大会決算及び余剰金の件

2023年度大会実行委員長杉山理事より、資料16に基づき説明がなされた。本部と支部からの大会準備金をそれぞれ返還し、余剰金315,670円を本部と支部へ8:2の比率でおさめる。審議・確認後、承認された。

(6) 2024年度大会の件

関東支部長藤井理事より資料17に基づき説明がなされた。2024年9月6日(金)～7日(土)に鎌倉女子大学にて、シンポジウムテーマを「調理の未来を考える一家庭内食と中食のこれから」とし、対面開催される。6日と7日については、大阪公立大学で開催される日本栄養改善学会学術総会と同日となる。そのためやや少ない参加者を予想して計画を立てている。鎌倉女子大学での開催について会場費がかかるため、参加費の値上げを行う。これらについて承認された。

(7) 2025年度大会の件

東海・北陸支部長和泉理事より、2025年度大会の準備状況について説明があった。2025年8月30日・31日に、東海学園大学を会場として開催予定であり、2024年3月に実行委員会を立ち上げる。なお、会場費はかからない。2025年度大会について承認された。

(8) 2024年度学会賞選考委員会の件

綾部会長より、2024年度学会賞選考委員会設置の提案があり、承認された。選考委員長は新井筆頭副会長、選考委員は庶務担当理事とする。

【その他】

(1) 各種支部報告(2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算)の提出の件

綾部会長より、各支部の2023年度事業報告・決算及び2024年度事業計画案・予算案を3月末までに事務局へ提出するよう各支部長へ依頼があった。

(2) 学会賞候補、奨励賞候補、功労賞候補の推薦の件

綾部会長より、学会賞及び奨励賞候補者の推薦依頼について、是非推薦をお願いしたいとの依頼があった(学会誌56巻6号に記載)。功労賞については、各支部長に候補者の推薦依頼があった。

(3) 次回理事会について

綾部会長より、2023年4月実施の監査終了後、5月上旬までにオンラインで開催するので、出席をお願いしたいとの依頼があった。

(4) 能登半島地震のボランティア募集について

平尾副会長より、被災地近隣の石川県立能登高校で行っている活動現場の人材、食材、食器等の不足について再度説明がなされた。ボランティア活動に参加意思のある方は、NPO法人キャンパーの柳田様に連絡をして状況を確認してからボランティア活動して欲しい。

(5) 支部等の会員メーリングリスト等

藤井理事よりメーリングリストや支部ホームページについて、どのようにしているか出席者に問いかけがあった。和泉理事、秋永理事、杉山理事、久保理事、坂本理事がそれぞれの支部の状況を説明した。さらに真部副会長は情報管理担当として本部の状況を説明し、今後の検討事項とした。

議事録署名人

会長

綾部 園子

筆頭副会長

新井 映子

監事

飯田 文子

監事

高村 仁知